

調査・研修等計画届出書

令和7年11月4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会	
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11月11日（火）14:00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11月12日（水）10:30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	・小澤 勝・三木 雪実・富田 宗一・宮藺 伸仁 ・高島 淳・山内 誠一郎・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 1 2 月 1 2 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7 年 11 月 11 日から 11 月 12 日まで（1 泊 2 日）
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会
会場名（会場所在地）	衆議院第一会館（東京都千代田区永田町 2 丁目 2－1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	1 1 月 1 1 日（火）14：00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 1 5 5 号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 1 1 月 1 2 日（水）10：30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察
調査先の事業の現状・課題 ／ 研修で学んだこと・キーワード及び所感	
1 1 月 1 1 日（火）14 時から 【国土交通省】 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 1 5 5 号）の進捗状況について、道路局国道・技術課課長補佐より現状説明を受ける。 国直轄事業として都市計画道路・記念橋上之山線（国道 1 5 5 号）について近年山口歩道事業が完成するところ、以北の記念橋山之上線における事業をすすめてい	

くため、現状の認識及び課題を共有していく。

市内において「企業団地の開発」「路線沿線の開発」「トヨタ新工場の新設」「にじの丘学園の開校」等の理由により、人口増加、交通量の増加が顕著にみられる。従って当該路線整備の重要性がさらに増していくことが想定されるため、特に児童生徒の通学時の安全を訴え、のちに国の動向を聞き取った。更にはそこに接続する市道工事をどの様に執り行うのが最善かを説明者に質問した。

国として当該道路整備は早期に進めるべきと考えており、利便性向上が図られる箇所より着手するのはどうかとの質問に一計であるとの回答であった。

【所感】

児童生徒の安心安全や持続可能なまちづくりのため、国道155号線の整備は必須な事業と考えられ、早急な対応が求められる。祖母懐小学校跡地で進んでいる約70戸の住宅開発に合わせ地域の利便性を向上していくことは、街の価値を上げるためには必要事項である。国と連携し市道整備も併せて取り組む必要があり、地域との協議も今後必要だと感じた。

【厚生労働省】

- ・公立病院の全国的な経営状況について
- ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について

厚生労働省、医政局医療経営支援課 医療法人支援室長及び総務省、自治財政局準公営企業室 課長補佐より説明を受ける。

公立病院はこれまで再編、ネットワーク化、経営形態の見直しに取り組んできたが、依然として経営状況はどこの病院も厳しい。主な課題としては「人口減少、少子高齢化に伴う医療需要の変化」「医師・看護師等の不足」「医師の時間外労働規制への対応」「新興感染症への備え」が挙げられる。

総務省・・・持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインの策定・地方団体への通知・公表



地方団体・・・公立病院経営強化プランの策定※令和7年8月時点99.9%策定済



地方団体・・・実施状況について概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表

：公立病院経営強化プランの内容

- (1) 役割・機能の最適化と連携の強化
- (2) 医師・看護師等の働き方改革
- (3) 経営形態の見直し

- (4) 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組み
- (5) 施設・設備の最適管理と整備費の抑制及びデジタル化への対応
- (6) 経営の効率化等

【所感】

近年の人件費や物価の高騰により、病院運営に要する費用が膨らむ一方で、現行の診療報酬はこうした実情に十分に対応できておらず、構成自治体からの負担金を繰り入れてもなお、経営環境は厳しいものとなっている。このような状況が続けば、地域住民の生命や健康、さらには社会の安全安心を支える公的基盤の役割を果たしていくことが困難になってくると考えるため、国に対し、財政措置を基軸として、早急かつ具体的な対応を実行することを強く求めていく。

11月12日（水）10時30分から

文部科学省

・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単施設更新や給食センター方式での更新など）文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課執行係長、総合教育政策局健康教育・食育課 学校給食・食育係長に説明を受ける。

「学校給食施設整備事業について」

児童生徒の健全な食生活を確保し、食育の推進を図るため、学校給食に関する調理施設の整備または改善を支援するものである。近年は施設の衛生水準向上や省エネルギー化への対応も求められており、文部科学省ではこれらを踏まえた改修・新設への補助を行っている。

補助内容及び対象

：調理場施設の新設または改修（基本衛生基準に適合するもの）

主要設備…調理機、廃棄物処理施設、排水処理機、給水設備、空調設備

衛生管理の高度化への対応…アレルギー対策設備、共同調理場設備、原材料処理設備

＊補助率＊

新增設事業：国庫補助 1/2

改築・改修事業：国庫補助 1/3

ドライシステムの導入について

衛生管理強化の一環として、近年「ドライシステム」への移行増加がみられる。ドライシステムとは、床を常に乾燥状態に保ち、調理時に水を流さないことでカビや細菌繁殖を防止する方式である。文部科学省によれば、新設事業の場合はドライシステム導入が推奨されており、計画段階で施設構造・換気・清掃動線を検討するのが望ましいとのことであった。

【所感】

本市の学校給食設備は、新設校であるにじの丘学園以外はセンター及び各小学校とも老朽化が顕著になってきており、小学校のセンター化も含め施設更新への議論が必要となってきた。今後は衛生管理基準や省エネ機器の活用の調査、関係各所との協議や連携も必要になってくる。文部科学省としては今後も自治体からの要望に基づき、施設整備補助（特にドライシステム）を継続していく方針であると感じた。児童生徒の学校生活において給食は特に重要であると感じているため、今後も調査、研究を深めていきたい。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 11 月 11 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	330	円		円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	6,600	円		円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920	円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	アパホテル小伝馬町駅前				0570-042-411		15,396 円			
備考欄										

27,246 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 11 月 12 日	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km	6,600	円	4,920	円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km		円		円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	330	円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 11,850 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

15,396 円

23,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

39,096 円